

新ごみ処理施設建設基金積立金について

環境部施設建設課

新ごみ処理施設建設基金は、平成 25 年度に建設に要する資金に充てるために設置されたもので、以下の額を積み立てています。

- ① 毎会計年度において一般会計の決算上生じた剰余金から、翌年度繰り越し財源に充てる金額を控除した額の 4 分の 1 相当額
- ② 古紙等売却収入額
- ③ 基金運用益
- ④ 予算で定める額のうち市長が指定する額

1. 積立金推移、現在高

(単位：円)

年度	H25	H26	H27	H28
前年度剰余金 1/4	212,000,000	164,000,000	74,000,000	148,000,000
古紙等売却収入	—	11,500,000	10,980,000	9,635,000
基金運用益	97,376	557,157	1,071,974	337,516
予算計上	454,377,346	—	—	—
積立額計	666,474,722	176,057,157	86,051,974	157,972,516
基金累計	666,474,722	842,531,879	928,583,853	1,086,556,369

年度	H29	H30	H31 (R1)	R2
前年度剰余金 1/4	55,000,000	141,000,000	94,000,000	125,000,000
古紙等売却収入	9,009,000	6,853,893	5,952,868	3,281,014
基金運用益	238,175	405,895	412,616	475,909
予算計上	—	—	—	200,000,000
積立額計	64,247,175	148,259,788	100,365,484	328,756,923
基金累計	1,150,803,544	1,299,063,332	1,399,428,816	1,728,185,739

※古紙等売却収入：H29 年度までは、収入額の 1/2 を積立、H30 年度以降は全額積立

2. 今後の予定

令和 3 年 2 月に新ごみ処理施設整備事業が都市計画事業に認可されたことから、今後は、各年度の他の認可事業と調整した上で、本整備事業に都市計画税を充当することが可能となりました。実際の基金の積立額は建設に係る契約額により変動するものの、今後の公債費の償還も勘案すると、新ごみ処理施設建設基金または市債管理基金への積立は今後も一定行う必要があります。